

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
1	序論・基本構想	序論	5	野中委員	計画の進行管理について、行政に必要なのはPDCAであるべき。肝心のアクション（A）が欠けていることが問題である。アクションがないために、過去に市が作成した様々な計画が実行に移されず、結果が出ていない事例があった。	評価（See）の中に「Check（評価）」と「Action（改善）」を包含する意図だったが、意見を踏まえ、より区分が明確になるようPDCAの図に差し替える方向で検討したい。		 ※イメージ
2	序論・基本構想	将来像	24	福成委員	将来像の中に市民参画の視点が不足しているのではないかと。市民も行政サービスをただ受けるだけでなく市民も主体となって参画し、みんなでまちづくりをしていくことが佐賀らしさに繋がると思う。みんなが上を向くつも、参画したい、参画してよかったというまちづくりを目指していくという文面があればよりよい文章になると思う。	将来像のうち、「まち」の目標において、市民参画の視点を加える方向で検討したい。	<p>■将来像に向けた目標</p> <p>○変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう…</p> <p>これまでにあった資産や歴史を守ることは前提として、一方で、変化に向き合い進化に変えていくこと、まちが持つ自然や個性、人々のつながりを大切にしながら変わり続けることで、このまちに住む人来る人にとって心地よいまちづくりを進めていきます。</p>	<p>■将来像に向けた目標</p> <p>○変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう…</p> <p>これまでにあった資産や歴史を守ることは前提として、一方で、変化に向き合い進化に変えていくこと、まちが持つ自然や個性、人々のつながりを大切にしながら変わり続けることで、このまちに住む人来る人にとって心地よいまちづくりをみんなで進めていきます。</p>
3	序論・基本構想	最新技術	26	牛島委員	説明の中で、価値観を変えるというような言葉があり、軽い違和感を覚えた。価値観はむしろ共有することが必要、理解が必要であり、それで変えるべきは視点と思考と行動と考えている。2040年には高齢の方が相当数になると、つまり、幅広い世代の人がこの佐賀市で生きているという価値観を共有する方向で、今回のキーワードであるバックキャストイングということで考える必要がある。	「価値観を変える」という表現については、見直しを行う。	<p>AI等の最新技術とデータを活用したまちづくり</p> <p>【方針】</p> <p>価値観を変え、佐賀らしさを引き立てるまちづくり（仮） ：2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市へ</p> <p>【内容】</p> <p>（略）</p> <p>目指す方針は、「価値観を変え、佐賀らしさを引き立てるまちづくり」です。</p> <p>社会が人に合わせることで、一人ひとりの暮らしが便利になり、時間や心に余裕をもたらします。その結果、人々は物質的な便利さや機能性を求めるのではなく、本質的な幸せ、例えば良好な環境や健康を大切にするように価値観を変えるのではないのでしょうか。そして、地域と深く結びつきながら、互いに助け合うコミュニティ、都市と自然が調和した生活、美味しい食べ物…そんな佐賀らしさは引き立ち、人々が幸せに暮らせるまちとして選ばれ、磨き上げられていくと考えます。</p> <p>最新技術とデータの活用によって、物質的な豊かさ＝便利から、精神的な豊かさ＝幸福に価値観が変化し、それに合わせたまちづくりにシフトしていく。このことが2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市となるようなまちづくりを目指します。</p>	<p>AI等の最新技術とデータを活用したまちづくり</p> <p>【方針】</p> <p>社会が人に合わせることで、佐賀らしさを引き立てるまちづくり（仮） ：2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市へ</p> <p>【内容】</p> <p>（略）</p> <p>目指す方針は、「社会が人に合わせることで、佐賀らしさを引き立てるまちづくり」です。</p> <p>社会が人に合わせることで、一人ひとりの暮らしが便利になり、時間や心に余裕をもたらします。その結果、人々は物質的な便利さや機能性を求めるのではなく、本質的な幸せ、例えば良好な環境や健康を大切にするように価値観を変えるのではないのでしょうか。そして、地域と深く結びつきながら、互いに助け合うコミュニティ、都市と自然が調和した生活、美味しい食べ物…そんな佐賀らしさは引き立ち、人々が幸せに暮らせるまちとして選ばれ、磨き上げられていくと考えます。</p> <p>最新技術とデータの活用によって、物質的な豊かさ＝便利から、精神的な豊かさ＝幸福を重視する視点に変化し、それに合わせたまちづくりにシフトしていく。このことが2040年の暮らしを支え、幸福を実感できる佐賀市となるようなまちづくりを目指します。</p> <p>※体系図についても、適宜修正を行う。</p>
4	基本計画	横断的な視点	34	今村委員	【こども・教育・福祉分科会】多様性について考えると、基礎データの中に外国人の人口データも含めるべきではないか。外国人留学生、外国人労働者、その家族の問題など、佐賀県の中でも佐賀市はグローバル地域の課題先進地となると考えている。大人もこどもも含めて、外国人の日本語教育や、外国人の子育て問題についても大きなテーマとして考えて欲しい。また、人材確保の観点について、介護福祉士のコースの7割は留学生であり、観光人材も留学生が増えている。地方はより外国人人材のニーズがあり、市の施策として、外国人に対する移住・定住などの国際化についての施策を強く打ち出すべきではないか。	前回の分科会で、「国際」の観点については「横断的視点」のうち、「②多様性」の中に含めることで整理していたが、意見を受け、新規項目として、「国際性」の項目を追加する。	<p>●横断的視点</p> <p>それぞれの分野の枠を超えた横断的な視点として、「主体性」「多様性」「持続性」「柔軟性」の4つの視点から横断的に施策を展開します。</p> <p>②多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ</p> <p>社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダーなどの多様性を認め合う社会の実現が求められています。</p> <p>このような変化を互いに受け入れながら、市民がそれぞれの立場、特性、権利を理解し、尊重した上で支え合い、一人ひとりが豊かな暮らしを送ることができるように、みんなが積極的に協力する社会を目指します。</p>	<p>●横断的視点</p> <p>それぞれの分野の枠を超えた横断的な視点として、「主体性」「多様性」「持続性」「柔軟性」「国際性」の5つの視点から横断的に施策を展開します。</p> <p>②多様性…多様性を理解し、尊重する社会へ</p> <p>社会情勢や構造は常に変化しており、市民の価値観や生活スタイル、ジェンダー、グローバル化などの多様性を認め合う社会の実現が求められています。</p> <p>このような変化を互いに受け入れながら、市民がそれぞれの立場、特性、権利を理解し、尊重した上で支え合い、一人ひとりが豊かな暮らしを送ることができるように、みんなが積極的に協力する社会を目指します。</p> <p>⑤国際性…グローバルな視点を持ち、世界に開かれた社会へ技術の進歩や世界経済との結びつきなどを背景に、グローバル化は急速に進展しており、経済や観光、教育などあらゆる分野においてグローバルな視点で物事を捉えることが求められています。「日本国内の佐賀」だけでなく、「世界の中での佐賀」にも目を向け、地域の魅力を磨きながら発信し、世界に開かれた社会を目指します。</p>

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	
第2回分科会でいただいた意見と対応方針	5	序論・基本構想	将来像	24	鳥井委員	【佐賀らしさに対する意見】 佐賀市は、豊かな自然と人の心が美しいまちだと感じる。人の手が加えられていない自然や、誠実さ・まじめさ・絆を大切に人の心など、飾らない自然さ・人柄があるのが佐賀市の良さだと思う。	「佐賀らしさ」について、個人個人が考える佐賀らしさがあり、それを明確に定義することは「らしくないもの」を排除するように読み取れるので、素案のとおり、将来像のリード文に例示として記載することにしたい。 また、いただいた「佐賀らしさ」の意見から、「誠実さ・まじめさ・絆を大切に」や「地域に対する自信や誇りを感じる」といった意見を参考に、リード文を変更する。加えて、水やみどり、特徴的な自然といったワードについても内容に盛り込む。 意見いただいた課題感については、リード文中の「佐賀らしさをもっと磨き上げたい」の中に読み込ませたい。	■将来像 『佐賀らしさでみんなが上を向くまち（仮）』 （中略） 豊かな自然に囲まれながら、都市と調和した便利な暮らしができること。 平坦で広い平野の上で、どこまでも続く広い空の下で、のびのびと過ごせること。 身近なところに温泉があり、美味しい食事に囲まれていること。 ときに街に出かけ、ときにスポーツや文化に夢中になる、そんなワクワクがたくさんあること。 暮らす人々がふれあい、つながり合う、あたたかい地域があること。	■将来像 『佐賀らしさでみんなが上を向くまち（仮）』 （中略） 豊かな自然に囲まれながら、都市と調和した便利な暮らしができること。 平坦で広い佐賀平野の上で、どこまでも続く広い空の下で、のびのびと過ごせること。 有明海に面し、嘉瀬川や筑後川が流れ、縦横にクリークが巡る、水の豊かさを感じられること。 脊振・天山山系の山々の恵みを感じられる暮らしができること。 身近なところに温泉があり、美味しい食事に囲まれていること。 ときに街に出かけ、ときにスポーツや文化に夢中になる、そんなワクワクがたくさんあること。 暮らす人々が信頼し、ふれあい、つながり合う、そんなあたたかい地域があること。
	6	序論・基本構想	将来像	24	鳥井委員	【佐賀らしさに対する意見】 女性にやさしいまちになってほしい。若い世代に、女のくせにが未だにあると思う。女性が主流で進める分野を設けることや、標語や川柳など人の目に触れる場所で女性が活躍するまちであることを示すことなどによって、女性が参画しやすいまちにできると良いと思う。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ
	7	序論・基本構想	将来像	24	山田委員	【佐賀らしさに対する意見】 こどもに関する施策を先駆的に取り組んでいるという印象と、市民の人が主体的に動き、それを行政が後押ししているまちだという印象がある。団体や市民が協働してまちづくりを推進しており、結果、市民の自力が高まっていると感じる。他自治体と比較しても市民と行政が良い意味で近く、市民が市民を支えている点は佐賀市の素晴らしいところだと思う。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ
	8	序論・基本構想	将来像	24	渡島委員	【佐賀らしさに対する意見】 佐賀らしさの情報発信について、佐賀市は佐賀の魅力を発信することが苦手な印象がある。パルーンやひなまつりなど、イベント時には一時的に盛り上がるが、常設的なものを発信できると良いのではないかと。県都であることを活かし、例えば近年売上が低迷している有田焼や唐津焼を扱うアンテナショップのような施設をつくって定期的な陶器市やろくろ絵付け体験を開催するなど、佐賀県の文化を発信する場所を佐賀市に作ったらどうか。 例として、徳島県の大塚国際美術館には陶器で作った絵画があり、年間42万人が訪れている。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ
	9	序論・基本構想	将来像	24	小城原委員	【佐賀らしさに対する意見】 以前は「水とみどりのまち」という印象だったが、今は水がない、水が汚れてしまっている。長崎街道が残っていれば良かったが、エスプラッツができ、川も汚れたままになっていると感じる。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ
	10	序論・基本構想	将来像	24	小城原委員	【佐賀らしさに対する意見】 子育てのしやすい地域だという印象があるが、自治会の女性の割合がかなり低く、組織内で子育ての悩みを相談できるという観点からも、女性の割合を増やすべきであると考え。まちづくり協議会には女性がが増えていて、自治会長には5%程度しかいないため、さらなる取組が必要だと思う。 自治会長のうち35%は女性というところもあるので、そういったところへの研修で学びながら、もっと住みよい佐賀市にしたいと思っている。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ
	11	序論・基本構想	将来像	24	宮崎委員	【佐賀らしさに対する意見】 佐賀らしさを明確に定義する必要はないと考える。行政が佐賀らしさを前面に押し出すと、佐賀らしくなければ排除されるという雰囲気があるため。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ
	12	序論・基本構想	将来像	24	宮城委員	【佐賀らしさに対する意見】 人々が地域の活動に積極的に参加している印象がある。地域に対する自信や誇りを感じる。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	
13	序論・基本構想	将来像	24	林委員	【佐賀らしさに対する意見】 豊かな自然をもう少し有効活用できないか。水が汚いと言われるが、近年は下水道の整備によってきれいになってきている。一方、それによって水が少なくなったため、バランスを取れると良いと思う。嘉瀬川ダムなどを活用できれば良いと思っている。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ	
14	序論・基本構想	将来像	24	野田委員	【佐賀らしさに対する意見】 行政において、データ連携など先進的な取組に挑戦し続けている印象がある。県に頼るのではなく、自分たちで作り上げていく姿勢を感じる。市民においても、自らまちを良くしていく取組が古くからあると感じており、福岡に並ぶ、注目される取組が推進されているまちだと思う。総合計画に書かれている挑戦し続けていくという姿勢にも納得ができるし、上を向くまちというのしっくりくる。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ	
15	序論・基本構想	将来像	24	福成委員	【佐賀らしさに対する意見】 明確な佐賀らしさを一言で表すことは難しいし、決めるべきではないと思う。将来像のリード文で各分野における佐賀らしさはすでに示されているため、その上での佐賀らしさを考えると、新しさや外から入ってくる人を受け入れるやさしさのあるまち、受容のまちだと思う。また、まちだけでなく、人とまちが両方元気であってほしいという願いがある。市民がさらに主体的に動くことで、まちも元気になっていくと思う。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ	
16	序論・基本構想	将来像	24	山下分科会長	【佐賀らしさに対する意見】 県都でありながらコンパクトであることが佐賀らしさだと感じる。特徴的な自然をもった地域がコンパクトにまとまっているため、それぞれに適切なまちづくりを進めていく必要がある。	No.5と同じ	No.5と同じ	No.5と同じ	
17	序論・基本構想	人口ビジョン	18	宮崎委員	1行目のタイトルに「コラム：」とついているが、コラムという言葉の使い方に違和感がある。 【なぜ、出生率が人口……続けるのか？】という表現でいいのではないか。	意見を踏まえて、修正する。	【コラム：なぜ、出生率が人口置換水準まで上がっても、人口が減少し続けるのか？】	【コラム：なぜ、出生率が人口置換水準まで上がっても、人口が減少し続けるのか？】	
18	序論・基本構想	将来像	24	岡山委員	【こども・教育・福祉分科会】 1つ目に、将来像の「佐賀らしさでみんなが上を向くまち（仮）」について、説明に「佐賀らしさ」が何回も出てきたが、わかりにくいところがあった。最後にバレーンが出てきて見上げるというつながりと思うが、佐賀市の将来像をわかりやすく掲げるにあたり、抽象的なわかりにくいものがあると、伝わるのか懸念がある。例えば、花の都パリや水都ヴェネツィアなどのキャッチコピーがあるため、わかりやすい佐賀市のキャッチコピーがあってもいいのではないか。豊かな自然と福岡に近い暮らしやすさから、「調和のとれた美しいまち」「おいしい水と空気のまち」「田園未来都市」などを考えている。良いところに住んでいることがイメージできるような言葉にしてほしい。	「佐賀らしさ」という言葉には、これまで目を向けてこなかった「佐賀らしさ」に、もう一度目を向けてほしいという願いを込めている。市民アンケートや高校生WS等で、一人ひとり思う「佐賀らしさ」があることが分かった。「佐賀はなんもなか」ではなく、「佐賀らしさ」に目を向け、それを磨き上げ、大きく動く時代の中においても豊かな地方都市をつくる、という点が今回の将来像の意義である。この言葉については、総合・地域分科会でも取り上げられ検討されている。定義づけが難しい言葉ではあるが、その分科会でどのような佐賀らしさを大切にしまちづくりを進めていくべきかというところで意見をまとめている。 また、ご指摘の将来像の設定の仕方は、佐賀市の良いところをアピールする将来像であり、どちらかというシティブロモーションの一環と整理している。総合計画の将来像としては、素案でお示している方向で整理させていただきたい。			
19	序論・基本構想	将来像	24	岡山委員	【こども・教育・福祉分科会】 「便利な暮らし」の説明が不足していると感じた。教育や子育てのDX化などにつながると思うが、現代社会ではネット環境は必然であり、それが整った暮らしやすい田舎がイメージできればと思う。	この節は、現在の佐賀らしさに関する記述である。「便利な暮らし」の背景としては、ネット環境もそうだが、市民アンケートや高校生とのワークショップの中で、市街地であり便利であるという声についても反映しているところである。			

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
20	序論・基本構想	将来像	24	岡山委員	【こども・教育・福祉分科会】 将来像の説明文では、①②③④は自然環境という意味合いでまとめられるのではないかと考える。	市民アンケートや高校生・大学生ワークショップで出された「佐賀らしさ」に対する意見を基にテキストを作成している。「自然環境」という4文字だけでなく、いただいた意見を尊重し、できるだけ紹介したい。		
21	序論・基本構想	将来像	24	岡山委員	【こども・教育・福祉分科会】 将来像に向けた目標： 『変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう』 ⇒変化に向き合い挑み続けることで常に進化し続ける「まち」になろう 将来像に向けた目標では、「変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう」というのは、「しよう」と「なろう」で主語が何になるか、統一した方が良いと感じた。	○「常に」については、採用を検討したい。 ○この項目だけ「なろう」と表現している理由は、主に以下の4点 ・「なろう」という表現は、目標を達成するための状態や存在に変化することを強調している。一方、「しよう」という表現は、行動や取組の具体的な実施を強調している。 ・「変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける『まち』」という目標は、まちが進化し続ける存在になることを強調している。この場合、「なろう」が自然な表現と考える。一方、「どんな『ひと』も自分らしく幸せにくらせるまちにしよう」や「どんな人も自分らしい『しごと』で新たな価値を生めるまちにしよう」は、具体的な行動や取組の方向性を示しているため、「しよう」が適している。 ・「まち」に対して「なろう」という表現がより強い決意や方向性を感じさせることができ、進化し続けなければならないという決意を表している一方、「ひと」や「しごと」に対しては、「しよう」の方が行動を促す柔らかい印象を与えている。 ・言葉のリズムや語感も重要と考えており、「まち」に対して「なろう」を使うことで、最初の目標が強調され、全体のメッセージに力強さを加えている。	変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう	変化に向き合い挑み続けることで常に進化し続ける「まち」になろう
22	序論・基本構想	将来像	24	岡山委員	【こども・教育・福祉分科会】 キャリアコンサルタントとしての活動を通じて、佐賀市に対して仕事についてもしっかりと向き合ってほしいと思っている。「どんな人も自分らしい「しごと」で新たな価値を生めるまちにしよう」は、何となくはわかるが、それぞれの働き方を実現することで、満足度、幸福度を上げられるまちと捉えている。また、「新たな価値を生めるまちにしよう」について、新たな価値を生めるにあまりイメージがわからないため、他の委員の意見をお伺いしたい。	「まち」「ひと」「しごと」の分類が分かるように、「しごと」という言葉をあえて使用している。「しごと」分野においては、人口減少局面において経済規模だけでなく、生産性や付加価値を高めることに重点を置くべきと考えており、それを反映させた内容となっている。 人口減少下においては、サービスや流通量の総量が減るため、GDPなどの経済規模だけでなく、生産性や付加価値を追求する必要があると考えている。本来であれば「付加価値」という表現を用いるのだが、あまり一般的ではないため、「価値」という表現を用いている。補足的に、P19で付加価値の説明も入れている。		
23	序論・基本構想	将来像	25	宮崎委員	将来像に向けた目標のフレーズを「どんな人も（どんな「ひと」も）」から「誰もが」に変更するべきではないか。「どんな」という表現が曖昧であると感じる。	意見を踏まえて、修正する。 タイトルの『どんな「ひと」も自分らしく幸せに暮らせるまちにしよう』については、本項の3つの目標である「まち」「ひと」「しごと」が分かるように、表現は修正しない。	■将来像に向けた目標 ○どんな「ひと」も自分らしく幸せに暮らせるまちにしよう これから目指すまちづくりは、「ひと」が中心のまちづくりです。人口減少の局面を迎える中では、暮らしの基盤となる経済的な価値だけでなく、一人ひとりの幸福や体験の豊かさといった心の価値の両方を大切にしなければなりません。 新しい発想や技術は取り入れる一方で、どんな人も自分らしく暮らせることを大切にすることで、みんなが幸せに思えるまちづくりを進めていきます。	■将来像に向けた目標 ○どんな「ひと」も自分らしく幸せに暮らせるまちにしよう これから目指すまちづくりは、「ひと」が中心のまちづくりです。人口減少の局面を迎える中では、暮らしの基盤となる経済的な価値だけでなく、一人ひとりの幸福や体験の豊かさといった心の価値の両方を大切にしなければなりません。 新しい発想や技術は取り入れる一方で、誰もが自分らしく暮らせることを大切にすることで、みんなが幸せに思えるまちづくりを進めていきます。
24	序論・基本構想	将来像	25	内藤委員 大江委員	【くらし・環境分科会】 先人が築いてきた過去や歴史をどのように活かしていくかという視点が計画に必要と考える。 p.25の一つ目の目標について。「これまでにあった資産や歴史を守ることは前提として～」の「資産や歴史」のフレーズだけでは、心もとないと感じる。この文章に「文化」を追加し、「資産、歴史、文化」とすればより良いのではないかと。後述の「まちが持つ自然や個性、人々のつながり」を包含して、文化と言えようと思う。	意見を踏まえて、修正する。	■将来像に向けた目標 ○変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう 気候変動や災害の激甚化、人口構造の変化等、私たちを取り巻く環境は大きく変化していきます。私たちの「まち」も、常に時代や社会の変化に対応することを求められています。 これまでにあった資産や歴史を守ることは前提として、一方で、変化に向き合い進化に変えていくこと、まちが持つ自然や個性、人々のつながりを大切にしながら変わり続けることで、このまちに住む人々にとって心地よいまちづくりを進めていきます。	■将来像に向けた目標 ○変化に向き合い挑み続けることで進化し続ける「まち」になろう 気候変動や災害の激甚化、人口構造の変化等、私たちを取り巻く環境は大きく変化していきます。私たちの「まち」も、常に時代や社会の変化に対応することを求められています。 これまでにあった資産や歴史、文化を守ることは前提として、一方で、変化に向き合い進化に変えていくこと、まちが持つ自然や個性、人々のつながりを大切にしながら変わり続けることで、このまちに住む人々にとって心地よいまちづくりを進めていきます。

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案																																																																																																														
25	序論・基本構想	将来像	26	吉村委員	【こども・教育・福祉分科会】 「AI等の最新技術と〜」とあるが、活用することでどう実現できていくのかというイメージがわからなかった。また、時間や期末の余裕ができたとしてもすぐに地域と深く結びつくことは難しいのではないかと。時間と気持ちに余裕ができ、次に地域とつながる経験をして、つながっていることの安心感に気づき、地域での生活に安心を感じるのではないかと。地域につながって、視野が広がり、価値観が変わり、自分なりのこやりたい、関わりたい、役立ちたいと思っていくと考え、文章を変えた方がよいと考える。	「地域とつながりがある」については、既に持っている佐賀らしさ（強み）の一要素として考えており、便利になることで地域と深く結びつくという因果関係ではなく、便利になることでつながりの強い佐賀が選ばれる、という文脈を意図している。																																																																																																																
26	序論・基本構想	土地利用	32	高田委員	【くらし・環境分科会】 有明海沿岸ゾーンの九州佐賀国際空港の記載について、「国際交流」は具体的にどのようなことを促していきたいのか明確にした方がよいと思う。福岡空港の代替としての役割や、九州における災害時の広域的な連携の拠点ともなりうる点に触れた方がよいのではないかと。	「福岡空港の代替としての役割」といった空港の利活用策は、空港を所管するところによって図られるものだと考えている。総合計画では、国際空港があるという強みを生かした「土地利用」の方針を示し、ご指摘のあった「九州における災害時の広域的な連携」などの詳細については、ご意見を参考にしながら総合戦略や関連する主な個別計画内で整理していきたい。																																																																																																																
27	基本計画	横断的な視点	34	大島委員	【経済・産業分科会】 計画素案を読んで、経済・観光、農林水産においても人を大切にしていると感じる。そこでは佐賀の住民・関わる人などまとめられているが、実際の生活では外国人やLGBTの方などもいるが、それが見えにくい。また、グローバルという視点も足りていないのではないかと。	他の委員からも同様の意見をいただいております。横断的視点に新たに「国際性」という項目を追加する方向で調整したい。	No.4と同じ	No.4と同じ																																																																																																														
28	基本計画	SDGs	56	宮崎委員	SDGs 関連表の「1 貧困をなくそう」について、コミュニティの取組のうち、自立した生活を支援するという項目が該当するのではないかと。自立した生活の支援が貧困をなくすことに繋がると考える。	意見を踏まえて、修正する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">対応するSDGs</th> <th>1 貧困をなくそう</th> <th>5 ジェンダー平等を實現しよう</th> <th>11 持続可能な都市づくり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>子育て・教育</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>健康・福祉</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>文化・スポーツ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>経済・観光</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>農林水産</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>生活・環境</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>コミュニティ</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>08</td> <td>防災・安全</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>09</td> <td>都市・交通</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>行政経営</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対応するSDGs		1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を實現しよう	11 持続可能な都市づくり	01	子育て・教育	○	○		02	健康・福祉	○	○		03	文化・スポーツ				04	経済・観光			○	05	農林水産				06	生活・環境			○	07	コミュニティ		○	○	08	防災・安全			○	09	都市・交通			○	10	行政経営			○	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">対応するSDGs</th> <th>1 貧困をなくそう</th> <th>5 ジェンダー平等を實現しよう</th> <th>11 持続可能な都市づくり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>子育て・教育</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>健康・福祉</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>文化・スポーツ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>経済・観光</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>農林水産</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>生活・環境</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>コミュニティ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>08</td> <td>防災・安全</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>09</td> <td>都市・交通</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>行政経営</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対応するSDGs		1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を實現しよう	11 持続可能な都市づくり	01	子育て・教育	○	○	○	02	健康・福祉	○	○	○	03	文化・スポーツ			○	04	経済・観光			○	05	農林水産			○	06	生活・環境			○	07	コミュニティ	○	○	○	08	防災・安全			○	09	都市・交通			○	10	行政経営		○	○
対応するSDGs		1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を實現しよう	11 持続可能な都市づくり																																																																																																																		
01	子育て・教育	○	○																																																																																																																			
02	健康・福祉	○	○																																																																																																																			
03	文化・スポーツ																																																																																																																					
04	経済・観光			○																																																																																																																		
05	農林水産																																																																																																																					
06	生活・環境			○																																																																																																																		
07	コミュニティ		○	○																																																																																																																		
08	防災・安全			○																																																																																																																		
09	都市・交通			○																																																																																																																		
10	行政経営			○																																																																																																																		
対応するSDGs		1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を實現しよう	11 持続可能な都市づくり																																																																																																																		
01	子育て・教育	○	○	○																																																																																																																		
02	健康・福祉	○	○	○																																																																																																																		
03	文化・スポーツ			○																																																																																																																		
04	経済・観光			○																																																																																																																		
05	農林水産			○																																																																																																																		
06	生活・環境			○																																																																																																																		
07	コミュニティ	○	○	○																																																																																																																		
08	防災・安全			○																																																																																																																		
09	都市・交通			○																																																																																																																		
10	行政経営		○	○																																																																																																																		
29	基本計画	SDGs	56	宮崎委員	SDGs 関連表の「11.住み続けられるまちづくりを」について、すべての政策に関連する項目であると考えている。	意見を踏まえて、修正する。																																																																																																																
30	基本計画	SDGs	56	宮城委員	SDGs関連表において、行政経営の「5 ジェンダー平等を實現しよう」に○がないことが寂しいと感じる。女性が活躍しやすい環境は、公務員こそ実現させやすいのではないかと。まずは行政から積極的に進めたいと思う。	意見を踏まえて、修正する。																																																																																																																
31	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	山田委員	「3 ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化」について、次世代人材を育成するまちづくりのビジョンに共感している。④ではさまざまな世代と表現されているが、次世代人材の観点ももう少し反映されてもよいのではないかと。	「04 経済・観光」に係る意見のため、経済・産業分科会において整理を行う。																																																																																																																
32	4 経済・観光		39	宮城委員	プロスポーツの社会的効果と経済的効果が注目され始めている。今はバルーンが観光の中心となっているが、プロスポーツも近年盛り上がっており、観光や経済にも波及する分野であるため、他の分科会でも取り上げてほしいと思う。	「04 経済・観光」に係る意見のため、経済・産業分科会において整理を行う。																																																																																																																

	No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
第2回分科会 でいただいた 意見と対応 方針	33	3文化・スポーツ	する・みる・ささえるスポーツの推進	39	山田委員	スポーツ振興について、県のSSPなどと運動して進められたら良いのではないか。その中の視点として、佐賀市は障がい者スポーツが盛んだが、資金面などで活動の維持が難しく、活性化しきれていない。2024以降のスポーツ文化についても目を向けた方がいいと思う。また、学校や企業でも連携や取組が進んでいるため、計画にそれらの観点も含まれていると良いのではないか。	SAGA2024国スポ・全障スポ開催を契機に、「する」スポーツだけでなく、「みる」スポーツ「ささえる」スポーツの観点から、スポーツに関わる人が増えていることを想定し、作成している。 施策1「する・みる・ささえるスポーツの推進」⑤の記載内容に、佐賀県や企業等との連携の視点を追記する。なお、学校との連携については、他の行政分野に含まれることで整理している。 また、障がい者スポーツに関しては、施策1「する・みる・ささえるスポーツの推進」④に記載しているとおり、スポーツボランティアや指導者を育てるなどの環境づくりを推進していきたい。	施策1「する・みる・ささえるスポーツの推進」⑤ 健康増進、介護予防、経済振興など、他の行政分野とも連携し、スポーツの重要性を周知・啓発し、スポーツの習慣化を推進します。	施策1「する・みる・ささえるスポーツの推進」⑤ 健康増進、介護予防、経済振興など、他の行政分野や県、企業等とも連携し、スポーツの重要性を周知・啓発し、スポーツの習慣化を推進します。
	34	3文化・スポーツ	する・みる・ささえるスポーツの推進	39	小城原委員	プロスポーツチームのホームタウンであるという点を活用すべきである。プロ選手の出前講座を実施し、選手から子どもたちへスポーツを教えてもらうことなどができれば、スポーツ文化の裾野が広がっていくと感ずる。	プロスポーツチームの活用については、主なポイントや施策1「する・みる・ささえるスポーツの推進」⑥に記載しているとおり、ホームタウンである強みを生かし活用していくこととしている。プロ選手の出前講座など、具体的な取組については、現在策定中の第3次スポーツ推進計画の中で審議していきたい。		
	35	3文化・スポーツ	する・みる・ささえるスポーツの推進	39	林委員	少年スポーツの取組にもう少し踏み込んでほしい。小さいころからスポーツをしていれば、大人になってもスポーツに関わりやすくなる。子どもたちが参加しやすい施策が必要だと感じている。	スポーツに関わる機会を増やすことについて、総合計画においては、年代に関わらず、全市民を対象と考え、主なポイントや施策1「する・みる・ささえるスポーツの推進」④に記載している。幼少期からスポーツを「する」機会を増やすことなど、具体的な取組については、現在策定中の第3次スポーツ推進計画の中で審議していきたい。		
	36	3文化・スポーツ	文化の魅力を高め未来へ	39	宮崎委員	「2040年に目指す市民等の姿」2の主なポイントについて、2点目を「市民が文化を身近に感じ、文化芸術活動へ参加すること」に修正し、3点目を「文化の保存や継承活動が活発で、市民が誇れる歴史を生かしたまちであること」に修正した方が良いと考える。	文言の修正を検討する。	2の主なポイント 「これまでの多様な文化芸術が生き、新しい文化が創造されていること」 「文化を身近に感じ、保存や継承活動が活発であること」	2の主なポイントを以下のとおり修正したい。 「佐賀の歴史や文化が大切に継承されていること」 「市民が文化を身近に感じるとともに、新たな文化が創造されていること」
	37	3文化・スポーツ	文化の魅力を高め未来へ	40	宮崎委員	「2文化の魅力を高め未来へ」について、 ②文化が持つ多様な価値や魅力について、最新技術を取り入れながら分かりやすく発信し、伝統文化の保存・継承に努めます。 ③市民が様々な文化に親しむ鑑賞や体験・発表の機会を提供します。 に修正した方が良いと考える。	文言の修正を検討する。	「2文化の魅力を高め未来へ」 ① 市民が暮らしの中で多様な文化芸術活動に触れたり、新たな文化の創造に取り組みやすい環境づくりを推進します。 ② 文化が持つ多様な価値や魅力について、最新技術を取り入れながら分かりやすく発信し、文化の保存・継承に努めます。 ③ 市民が身近に文化芸術に触れる機会や発表の場をつくります。 ④ 江戸期の風情が残る佐賀城下町を、市民が誇れる場所となるよう歴史を生かした公園整備や街並み保存などに取り組みます。	「2文化の魅力を高め未来へ」 ① 本市には、歴史や風土のなかで育まれてきた佐賀ならではの歴史遺産や伝統文化などが数多くあり、大切に継承されるよう取り組みを推進します。 ② 市民が暮らしの中で多彩な文化芸術活動に触れ、自ら取り組む機会を創出します。 ③ 文化が持つ多様な価値や魅力を、最新技術を取り入れながらわかりやすく発信します。 ④ 江戸期の風情が残る佐賀城下町を、市民が誇れる場所となるよう歴史を生かした公園整備やまちなみ保存などに取り組みます。
	38	3文化・スポーツ	文化の魅力を高め未来へ	39	渡島委員	文化施設の整備について、市民会館等の施設とは別に、どんだんどの森などを活用した、文化・観光施設の整備を進めてはどうか。どんだんどの森は敷地が広く、壮大な景観もあるが、必ずしも憩いの広場にはなっていないので、もっとPRしてはどうか。一方、周回道路があることで施設の機能を毀損していると感じる。道路を広場にし、人が集えるようなスペースを作って展示会などを開催してはどうか。	芸術文化の拠点としては文化会館・東与賀文化ホールがあり、また他の公共施設や民間施設と連携して有効活用を図りたい。		

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
39	3文化・スポーツ	文化の魅力を高め未来へ	39	渡島委員	佐賀の七賢人や、佐賀を誇る文化である葉隠を有効活用し、パルーンミュージアムにセットで展示するなど、もっとPRを進めても良いのではないか。	計画に個別に反映することは難しいが今後の検討課題とさせていただきたい。		
40	3文化・スポーツ	文化の魅力を高め未来へ	39	鳥井委員	市内の七賢人の銅像は、夜歩くと怖い印象があり、夜は女性1人では歩きにくいと感じる。女性が夜に1人でも歩けるまちになってほしい。子育てしやすいまちをPRするのであれば、偉大な歴史上の人物を押し出す際に、彼らを支えた女性たち、という視点で、陰に隠れがちな女性の努力にも焦点を当ててほしいと感じる。	計画に個別に反映することは難しいが今後の検討課題とさせていただきたい。		
41	3文化・スポーツ	文化の魅力を高め未来へ	40	渡島委員	【委員から別途、文書を提出】 ○文化施設の充実 佐賀市には市民が気軽に利用できる文化施設が不足している。佐賀市文化会館は郊外に位置し、市民の交流の場や周辺地域への経済波及効果が不足している。また、アクセスが不便で、高齢者にとっても利用しにくい施設であることが問題視される。	芸術文化の拠点としては文化会館・東与賀文化ホールがあり、また他の公共施設や民間施設と連携して有効活用を図りたい。		
42	3文化・スポーツ	文化の魅力を高め未来へ	40	渡島委員	【委員から別途、文書を提出】 ○市中心部への文化施設の設置 佐賀市中心部に文化施設を整備する必要と考えており、かつての佐賀市民会館のような、市民の拠り所となる施設が求められている。佐賀市民会館は、かつて多くの人を集め、経済波及効果が高かったと考える。 新しい佐賀市文化会館は郊外に位置し、市民にとって利用しにくいため、市中心部にアクセスが良い場所に新たな文化施設を建設すべき。たとえば、佐賀市交通局の敷地を利用することが適当だと考えており、その敷地を用いて社会実験を行うことを提案したい。	芸術文化の拠点としては文化会館・東与賀文化ホールがあり、また他の公共施設や民間施設と連携して有効活用を図りたい。		

	No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
第2回分科会で整理済	43	7コミュニティ	自分らしく幸せに暮らす社会の実現	47 48	福成委員	主なポイントの1つ目の文末、「同時に他人を思っていること」というフレーズについて、口頭では「同時に他人を思い合っていること」という説明であったが、思い合っていることという言葉が大事だと思う。またそれに伴って、p.48の「2 自分らしく幸せに暮らす社会の実現」というフレーズがあるが、「自分らしく幸せに暮らす」は個人個人がぶつかり合うようなイメージがある。フレーズとしては、「自分らしく幸せに暮らしあう」のほうが望ましいと思う。	主なポイント「同時に他人を思っていること」、施策「自分らしく幸せに暮らす社会」という表現については、見直しを行う。	【主なポイント】 個性や生き方等の違いを認め合い、自分を大切にすると同時に他人を思っていること 【施策】2 自分らしく幸せに暮らす社会の実現	【主なポイント】 個性や生き方等の違いを認め合い、自分を大切にすると同時に 互いを思い合っていること 【施策】2 自分らしく幸せに 暮らし、支え合う 社会の実現
第2回分科会でいただいた意見と対応方針	44	7コミュニティ	みんなが主役のまちづくり	47	宮城委員	自治会や協議会など、名称に固い印象があると楽しくなさそうだと感じる。自己犠牲を伴うように見え、参加しなければならないものだという意識になると、参加したいと思う人が減る。例えば「スポーツ草刈り」、「スポーツクラブ」など、表現の工夫によって参加者が増えたケースもある。言い方によって活動の印象が大きく変わるので、工夫できると良いのではないか。P.47に「みんなが参加しやすく…」とあるが、「みんなが楽しく」等参加したくなるような文言にしてはどうか。	「みんなが楽しく」と同じような意味合いの表現を入れて、文言の修正を検討する。	【前文】 (前略) 私たちは、みんなが参加しやすく、心地よい暮らしを実現するための仕掛けづくりに積極的に取り組んでいきます。	【前文】 (前略) 私たちは、 まちづくりに関わる活動に、誰もが気軽に楽しみながら参加できるよう、また、 心地よい暮らしを実現するための仕掛けづくりに積極的に取り組んでいきます。
	45	7コミュニティ	みんなが主役のまちづくり	47	小城原委員	まちづくり協議会ができ、各組織が連携した横断的な活動を推進したところ、参加しやすくなったという声もあった。若い人を取り込むためにも、早いうちから活動に興味をもってもらい、意欲のある人が継続して参加できるような取組が必要だと考える。	若者など新たな人たちが地域活動へ参加してもらい、構成人員が幅広い世代に渡るようになることは、継続的な活動を行ううえでは、非常に重要であると認識している。 若者や現役世代が気軽に楽しみながらまちづくり活動に参加してみて、結果として継続して活動に参加しているような事例の紹介などを積極的に行ってきたい。		

	No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案
第2回分科会 でいただいた 意見と対応 方針	46	10行政経営	信頼される持続可能な行政運営	53	福成委員	熊本市の人材育成計画には、職員の基本理念と基本姿勢が明確に示され、職員の指針として浸透している。わかりやすい指針があることは良いことだと感じており、明言していけばバックキャストにもつながると思う。佐賀市にも同様の取組があるのであれば、総合計画の中にも反映させていけたら良いのではないかと。	総合計画中の「行政経営」と「人材育成基本方針」では、主体が法人と個人という違いはあれども、同様の主旨を記載している。 P53【OPENなしせい（市政・姿勢）で挑むまち】 4行目：佐賀市の行政運営に対する関心と信頼に応え続けていくために、 常に改革・改善に取り組みながら質の高い行政サービスを提供していきます。 【2040年に目指す市民党の姿】「2市民は、選択と集中による質の高い行政サービスに満足し、 行政運営を信頼している。 」		
	47	10行政経営	信頼される持続可能な行政運営	53	鳥井委員	行政が主体となって女性が活躍できる場所を明確に示す必要があると考える。子育てや高齢者のお世話のことなど、どうしても女性にしかわからない観点があるため、そこをすくいあげてほしいと感じる。	本市では、性別に関係なくすべての職員が、適材・適時・適所で業務に従事できる体制の構築を目指している。	【2 信頼される持続可能な行政運営】 ②効率的で効果的なしごとのやり方を追求することで、限られた職員数でも、多様化する市民ニーズに的確に応えられる体制を強化します。	【2 信頼される持続可能な行政運営】 ②効率的で効果的なしごとのやり方を追求し、 すべての職員が主体性を持って活躍することで 、限られた職員数でも、多様化する市民ニーズに的確に応えられる体制を強化します。
	48	10行政経営	信頼される持続可能な行政運営	53	山田委員	行政と市民がともに見られるようなキャッチコピーや合言葉があると活動しやすいと思う。計画の内容が行政からの一方通行にみえ、市民がサービスを受ける側だという印象が強い。行政経営は行政だけで行うものではないので、市民も参画する仕組みがあった方がよいと思う。市民の役割がもう少し反映されていても良いのではないかと。	「2040年に目指す市民等の姿」の1項目目では、佐賀市に関わりたい市民を増やす目標を掲げており、ご意見の趣旨をたいへん心強く受け止めている。 ご意見を踏まえ、当該政策の冒頭部分の説明に一部追記を行う。	【OPENなしせい（市政・姿勢）で挑むまち】 少子・高齢化・人口減少が進行中、限られた職員数で多様化し続ける市民ニーズにスピード感をもって対応する必要があります。そのためには、「市政」を見える化し、垣根なく、さまざまな声を大切にしながら、変化に挑み続ける姿勢が重要です。	【OPENなしせい（市政・姿勢）で挑むまち】 少子・高齢化・人口減少が進行中、限られた職員数で多様化し続ける市民ニーズにスピード感をもって対応する必要があります。そのためには、「市政」を見える化し、垣根なく、さまざまな声を大切に し、市民とともに 、変化に挑み続ける姿勢が重要です。
	49	10行政経営	信頼される持続可能な行政運営	53	小城原委員	公共施設を無償で貸すのは時代遅れだと感じる。維持費を行政の補助ではなく、公共施設で稼げるようにしなければ、経営が成り立たないのではないかと。20年前から言われているが、変わっていない。	公共施設の維持費については、令和3年度に「佐賀市公共施設等総合管理計画」として整理し、施設の延命化と総量削減を進めていく方針としている。 ご指摘のとおり、公共施設の維持管理に要するコストの変化に応じて、受益者負担の見直しも含めて検討していく。		
	50	10行政経営	信頼される持続可能な行政運営	53	渡島委員	佐賀市の公共施設が移転され、人の流れが途切れたことで空洞化が起こったのではないかと考えている。移転した後の地域の活性化を考えるべきである。公園にするのも良いが、経済効果は薄い。佐賀市中心部に文化施設がないため、佐賀市交通局の有効活用を提案している。公共施設の有効活用は佐賀市の価値を大きく高めることができ、中心市街地の活性化も可能になると考える。	ご意見のとおり、“人を集める”触媒として、公共施設を活用することは、有用だと認識しており、施設整備に関しては、PFI制度などにより、官民が連携していく手法の導入を進めていく。		